



どうだんつつじ

満天星

第11号 令和7年2月19日



QRコード
智頭小学校ホーム
ページへアクセス

ほめるアイドリング

校長 矢部 佳子

早いもので、令和6年度も残すところ1か月半となりました。今、小学校では、5年生が中心となり、2月28日の「6年生を送る会」に向けて全校を挙げて準備をしています。また、6年生は、総合的な学習で「恩返しプロジェクト」と銘打ち、これまでの感謝の気持ちをどのように伝えていくかを話し合い、何か実行しようとしているようです。それぞれの学年が、学習や生活のまとめをしながら、今年度成長したことを振り返り、新学年へ向かう期待感を高めているところです。

さて、本校は智頭町から5名の特別支援教育支援員を配置していただき、日々児童の支援にあたっています。私は、一年を通して5名の日誌を読みながら、「すごいな」と思うことがあります。それは、子供たちのほんの些細な「頑張り」や「できた」に気が付き、子供たちにタイムリーに声をかけてくれていることです。学習でも対人関係でも、自信がなく苦手意識のある子供たちは、そんな小さな変化に気が付き、認めてもらうことで自己肯定感を高め、また挑戦しようという意欲をもちます。そんな安心感の中で、子供たちは成長していくのだと思います。

それらの小さな成長に目を向けることなく、「〇〇はやったか」「〇〇をがんばれ」と要求ばかりを口に出してしまうことはないでしょうか。人はみんなそれぞれ「強み」を持っています。その「強み」を引き出し伸ばしていくと、人は自分らしく生き生きと幸せに過ごすことができるのだそうです。車のエンジンをかけた状態にし、いつでも発進できるようにしておくことを「アイドリング」といいますが、私たち大人は、いつでもほめることができるような「ほめるアイドリング」をしておき、子供の小さな変化に気付いたときにタイムリーにほめることができればいいなと思います。それが、子供の自信ややる気を育むことにつながるのではないかと思います。

年度末を迎え、子供たちの成長がいろいろな場面でたくさん見られるようになってきました。地域の方との交流会で、マイクをもって堂々と進行をする1年生。学級会で、張りのある声で意見を伝え合う2年生。先生の話集中して聴く3年生。学習したことをスライドで分かりやすく発表する4年生。6年生を送る会の準備に、協力して取り組む5年生。そして、卒業に向けて心を一つにし、一生懸命文集や卒業制作に取り組む6年生。



本校は、全教育活動を通して子供たちの自己肯定感、自己有用感を高めていくことを目標の一つとしています。子供たちの小さな変化に気が付き、それをしっかりと伝えていける大人でありたいと思います。



今年度最後の参観日 ありがとうございました



1月25日(土)の参観日・学校説明会・懇談会への参加、ありがとうございました。今回は、自分の体や成長を見つめる学習、親子対決のカルタ取り、プログラミング、学習の成果発表など、子供たちの1年間の成長が感じられる学習だったと思います。また、学校説明会、学年懇談・茶話会にも多くの参加をいただきました。学校説明会では、今年度の学校の取り組み、学力向上について、各プロジェクトの報告などを行いました。懇談会では、来年度の学年役員決めも行われました。茶話会の準備、役員決めと、教養部を始め、学年役員の皆様には本当にお世話になりました。ありがとうございました。



1年生「あか・き・みどりで
げん気なからだをつくろう」



3年生「カンジーはかせの
音訓かるた」



学校説明会



2年連続! CMコンテスト入賞!!

2月1日(土)、ふるさとキャリア教育CMコンテストの表彰式があり、5、6年生の作品が「CM賞」「奨励賞」を受賞し表彰を受けました。惜しくも大賞は逃しましたが、2年連続の受賞でした。

30秒という短い時間の中で思いが伝わるよう、言葉にこだわり構成を工夫して作り、今回の受賞となりました。CMづくりを通して、子供たちは智頭の魅力を知り、ふるさと智頭の魅力を再発見することができたと思います。入賞作品のCM動画は、学校ホームページから見るができます。昨年度のコンテストで入賞した作品も合わせて見るができますので、ぜひご覧ください。



授賞式の様子



CM賞作品

「智頭町でドレミの歌♪」



奨励賞作品

「智頭町に来た謎のラッパーM」

人権の花 感謝状贈呈式

2月14日(金)に人権擁護委員様より、人権の花を大切に育てたことへの感謝状をいただきました。6月に人権の花をいただいてから、栽培委員会を中心に大切に育ててきました。花を大切にすることを通して、命や体を大切にすることを学んでほしいというメッセージを、今後も大切にしていきたいと思います。

